



高島歴史民俗資料館

高島市で誕生した継体大王は、令和に即位された今上天皇より100代前の天皇である。聖徳太子の曾祖父でもある継体大王までが実在と譜系のつながりが明らかだとされている。



高木 広和 議員

継体大王と高島との結びつきにまつわる歴史について

継体大王の生誕地として観光振興を

どのように進められるのか。

答

今年度のテーマを「高島市の古代遺跡を巡る」として進めます。

問

高島市としては、継体大王の生誕の地が高島であるという認識で施策を進められているという点でよろしいか。

答 教育総務部長

継体大王誕生にまつわる伝承や史跡を発信する意味からも、継体大王生誕の地は高島であるという認識で施策を推進しています。

問

文化財や歴史に関する語り部は現在いらっしやるのか、あわせて、そのような人材を育成し、語り部の体制を整備することが必要と考えるか。

答 教育総務部長

高島歴史民俗資料館の職員が案内や説明を行っています。今後は、住民組織等にも協力いただきたいことから、「大溝の水辺景観まちづくり協議会」および「海津・西浜・知内地域文化的景観まちづくり協議会」において、市内の文化財を広く深く紹介できる案内人の養成講座を計画しています。

問

継体大王と関わりのある市内や市外の拠点と交流を図り、連携しながら一緒に取り組んでいくことも必要かと考えるか。

答 教育総務部長

年に数回、関係地の歴史サークルや講座受講生のみなさんが、高島市の継体大王関係地の見学にいられています。

問

継体大王の生誕地としてイベントを開催していただくようお願いしてきたが、今年のイベントについてはどのように進められるのか。

答 教育総務部長

市主催で毎年実施している「たかしま歴史楽」の今年度のテーマを「高島市の古代遺跡を巡る」とし、第1回の講座では、高槻市の

今城塚古代歴史館の特別館長に、継体天皇と高島のかわりについてご講演をいただきます。また第4回の現地見学会では、市内の継体大王関連史跡をめぐる計画を進めています。



えなづか 胞衣塚 (高島市安曇川三尾里)